

★動作を表す動詞【一般動詞】

☆存在を表す動詞【be動詞】

疑問文・否定文の作り方が異なる

S	V	O
私は	～する	～を(目的語)
I	like	tennis .
	play	
	watch	
★ S ≠ O	SはOを～する	

S	V	C
私は	～です	・・・な(補語)
I	am	Ken
		happy .
		a singer
☆ S = C	SはCである	

★【一般動詞】 主語の人称や時制によって使い分ける

like have eat
play go study
watch get stay

原形

likes has eats
plays goes studies
watches gets stays

sをつける



自分+話している相手
+複数の人たち

I You We They
Ken and I など



He She **話題に出てくる人やもの**
My bike Tokyo など



P. 7 **A** 解説

1. (2)(3)の主語・・・We, Theyだから動詞は原形
(4)(5)(5)の主語・・・Yumi, Ken, My father【三単現】
だから動詞にsをつける

2. とてもラクだったbe動詞とちがって、
お助けマン（助動詞do/does）の力が必要

(1)(2)は do , (3)(4)は does が文の変形を手伝う

3. (1) あなたは (2) 彼らは ⇒ do を使う
(3) 愛子は (4) 彼は ⇒ does を使う
(4) いつ? ⇒ When はいつでも先頭へ

do / does を使ったら
動詞は原形にする
(**sをとる**)



- 1 問1** (1) helping は進行形⇒be動詞+～ing
(2) 主語がKate
(3) 主語がMy sisters (複数) だから…
(4) 主語がKen

- 問2** (1) ?があるから疑問文
when はいつでも先頭

- (2) 主語になるのはwe
動詞はhave
a lot of ~ : たくさんの～

2. このコーナーで単語のチェックをしましょう。

3. 知っている単語を総動員して英文の意味を**推測する力**をつけよう。

(1) call (呼ぶ), accident (事故), take (連れていく), hospital (病院)

(2) old (古い、昔の), dragon (龍)

ア森林 : forest

ウ伝説 : legend

レジェンド

イ神社 : shrine

エ空想 : fantasy

ファンタジー

4. 問題3と同様に、**推測する力**をつけよう。

Mary talked to her friend, Yuka. Yuka said, “ I started *koto* lessons
“
about three months ago.” Mary said, “ I want to practice it, too, Yuka.”

“ **You** can practice it with it with **me** next Saturday,” said Yuka. “Really?”

I’ll tell my mother about **that** said Mary.

“ “の後にsaid Yukaとあるので話したのはYuka。Yukaが「あなた」と呼んでいるのでこれはMaryを指す。となると、meはYukaのこと。



- ★人物ごとに動詞を確認
- ★せりふの中の**I**や**You**がだれを指すのか確認

() に由香(Yuka)といっしょに () こと。